

長崎県内で平成22年に発生した養殖業での災害事例（主なもの）

番号	発生月	被災者	発生状況の概要	被災程度	所轄署
		職種		起因物	
		年齢等		事故の型	
1	9月	男	車エビ養殖場で潜水器具を着用して養殖池に潜り清掃作業を一人で行っていた被災者の姿が見当たらないため、同僚が養殖池を見回ったところ、船舶に掛けられた梯子に引っ掛かり、養殖池内で沈んでいるのが発見された。	死亡	江迎
		作業員		環境等（水）	
		40代		おぼれ	
2	9月	男	倉庫で丸めた養殖網（化繊）約150kgを、4人で60cm程の高さの網の上に重ねるため持ち上げた際、腰部に痛みを感じ負傷した。	4日	江迎
		作業員		荷姿の物	
		50代		動作の反動、無理な動作	
3	9月	女	作業場近くの木枠で籠を持ち運んでいる途中、足元のロープに引っ掛かり転倒し、肩に掛けていた木枠で負傷した。	15日	対馬
		作業員		通路	
		30代		転倒	
4	8月	男	作業場において、筏より揚げた籠を持って船に移ろうとしたところ、筏の板が折れて転倒し、膝の靭帯を損傷した。	2週間	江迎
		作業員		木材、竹材	
		30代		転倒	
5	8月	女	海上筏で網の移動作業終了後、休憩所において体調不良を訴え、救急車で搬送された。	4日	佐世保
		作業員		高温・低温環境	
		30代		高温・低温の物との接触	
6	7月	男	おもり置き場で、おもりに付着した瀬を金づちで落としていたとき、右目にゴミが入り負傷した。	2週間	対馬
		作業員		手工具	
		40代		飛来、落下	
7	7月	男	漁場の筏の上でハマチをすくい網ですくって揚げるときに、足元にたぐり寄せていたロープに足が引っ掛かり足が筏の棧と棧の間で打って負傷したもの。	3ヶ月	長崎
		作業員		作業床、歩み板	
		50代		墜落・転落	

長崎県内で平成22年に発生した養殖業での災害事例（主なもの）

番号	発生月	被災者		発生状況の概要	被災程度		所轄署
		職種	年齢等		起因物	事故の型	
8	6月	男	50代	被災者は1人で小型船舶に乗って養殖いかだまで移動し、養殖いかだ上を移動しながら見回り、清掃作業等を行っていたが、養殖いかだから約80メートル離れた岸壁に流された小型船舶側面の海底に被災者が沈んでいるのを発見された。	死亡	長崎	
		作業員			水		
					おぼれ		
9	6月	男	30代	養殖作業船上で、ユニッククレーンを操作中、操作レバーを誤って反対の方向へ作動させたため、ユニッククレーンのワイヤーロープが切断し、フック部分が足上に落ちて負傷した。	30日	江迎	
		作業員			揚貨装置		
					激突され		
10	6月	男	20代	真珠貝を洗浄する船上で作業終了後、機械の掃除中カバーを外し、チェーン付近の汚れを取ろうとしたとき、ゴム手袋が機械に巻き込まれ、右手指を負傷したもの。	2ヶ月	佐世保	
		作業員			動力伝導機構		
					はさまれ、巻き込まれ		

平成22年中に発生した災害のうち、6月以降の災害を中心に主なものを掲載しています。